

広葉樹利用に係る勉強会を開催しました

～ 置賜森林管理署 ～

開催日：令和7年2月27日

開催場所：株式会社アイタ工業 2階展示室、製材工場

置賜地域には豊富な広葉樹資源が眠っており、その活用が望まれます。

使い方次第では木材チップ等の燃料にも、フローリング等の建材にもなる広葉樹材は、同じ木材でも需要により価格が変動するため、より効率的に利用するためには豊富な知識が必要です。

今回、置賜地域で広葉樹利用を推進している株式会社アイタ工業様を訪問し、置賜森林管理署職員11名で勉強会を開催しました。



勉強会の様子（株式会社アイタ工業 2階展示室）

座学では代表取締役社長 相田 吉則 様による講義の下、アイタ工業が作製した広葉樹材製品のお話やB・C材の活用方法、山形県内の広葉樹材流通事情まで詳細な話を聞かせていただきました。座学を行った展示室の内装は多種多様な広葉樹材が使われており、実際の製品を見たり触れたりしながら学習することができました。

工場見学では製材前の丸太と製材後の板を比較しながら実際の製材の様子を見せていただき、乾燥方法まで説明していただきました。



工場見学の様子（株式会社アイタ工業 製材工場）

今回の勉強会では、川上である置賜森林管理署だとなかなか聞くことのできない川中の事情について真摯にお話していただき、大変実りあるものとなりました。

また、実際の製品を手に取りながらの勉強は大変わかりやすく、広葉樹の活用についてより深く学ぶことができましたと感じています。

これからも、置賜地域の広葉樹材をより上手く利活用できるように努めてまいります。

置賜森林管理署 業務グループ：福村